Ⅱ．入学者選抜

２．特別選抜

２－１．随時特別選抜

２－１．随時特別選抜

随時特別選抜は、明確な研究テーマを持つ意欲の高い博士前期課程志望者が、指導を希望する教員から事前に面接試験実施の内諾を得た後、面接試験を行う日時を本学が随時に設定するものです。

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員（注3）	
		令和6年10月入学	令和7年4月入学
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	25名（注1）	25名（注2）

（注1）随時特別選抜令和6年4月募集人員を含みます。

（注2）随時特別選抜令和7年10月募集人員を含みます。

（注3）募集人員に達した場合、最終出願締切前であっても本選抜による募集を終了することがあります。本選抜による募集を終了する場合、本学ホームページ上でその旨をお知らせします。

２．出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当し、合格した場合は入学を確約できる者。

(1)　日本の大学を卒業した者

(2)　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者）

(3)　外国において学校教育における16年の課程を修了した者

(4)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等）

(9)　本学が認める飛び入学者

次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね4分の3以上）を優秀な成績で修得したと認めたもの

① 日本の大学に3年以上在学した者
② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等）

(11) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「３．出願締切」に進んでください。

［入学資格審査］

出願資格(9)、(10)、(11)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ（入学案内→学生募集要項）からダウンロードし、直接入力・印刷の上、「出願予定日の１か月前」までに審査書類を提出してください。

また、最終提出締切は試験区分に対応した次の日です。

試験区分	最終提出締切（必着）
令和6年10月入学	令和6年 4 月23日(火)
令和7年 4 月入学	令和6年12月20日(金)

入学資格審査の詳細については、入学資格審査要項を参照してください。

［入学資格審査URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html

なお、出願資格(9)①で本学に入学した場合、学部学生としての履歴は退学となり、学部卒業（学士）が条件となっている各種国家試験等においては受験等の資格がないので十分注意してください。

審査結果通知書は、審査書類を提出後１か月程度で本人宛に発送します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

３．出願締切

出願締切は試験希望日（いずれか早い日）の3週間前（当日消印有効）です。最終出願締切は試験区分に対応した次の日です。

試験区分	最終出願締切	
令和６年10月入学	令和６年 5 月31日(金)	当日消印有効
令和７年 4 月入学	令和７年 1 月31日(金)	

４．出願手続

出願手続前に出願者はあらかじめ指導を希望する教員に連絡をとり、その教員を面接委員とする面接試験実施の内諾を得てください。内諾を得た場合は、試験希望日についてもその教員に相談してください。

(1) 出願方法

本選抜は出願手続を郵送で行います。出願書類は一括して、角２封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「博士前期課程（先端科学技術専攻）随時特別選抜・出願書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便（海外からの場合は DHL、EMS 等）で提出してください。なお、教育支援課入試係窓口に持参し、提出することも可能です。

(2) 出願書類

出願書類は所定の様式及び証明書類です。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードしたものに直接入力し、印刷してください。

パソコンによる入力を推奨しますが、手書きする場合は、必ず黒のペン又はボールペンで記入してください（消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可）。

［所定の様式ダウンロード URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-m.html

① 出願者全員が提出する書類

所定の様式	備　　考
入学願書（随時特別選抜用）	随時特別選抜用を使用すること。
小論文	**課題：「本学入学後に取り組みたい研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。 また、11 ポイント以上のフォントを用いA4 判片面１枚に収めること（補足資料の添付は不可）。

エントリーシート	以下について記入すること。 ① 関心の高い研究領域（4 頁を参照の上、1 つを記入すること。） ② 関心の高い研究室（研究室の教員名を少なくとも 1 名は記入すること。関心の高い研究室が複数ある場合、関心の高い順に 3 名まで記入できる。教員名はフルネームで記入すること。） ③ 希望する学位（3 頁を参照の上、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンスから 1 つを選択すること。） ④ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3 科目） ⑤ 本学を志望する理由 ⑥ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標 書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
特定類型該当性の自己申告書	
受験票	入学願書と同じ写真を貼付すること。
宛名シート	「受験票」「合否結果通知書」「入学手続案内」等の郵送に使用。出願後、住所を変更した場合は、速やかに新住所を連絡すること（自宅以外は不可）。

証明書類（注 1）	備　　考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。
検定料払込証明書 ※写し（コピー）可	**検定料：30,000 円**（国費外国人留学生は不要） ※振込手数料は受験者負担 納入方法：以下の本学指定の振込先銀行口座に「電信扱」で振り込み、振込金受取書や取引明細書等、振り込んだことが分かる書類を提出すること。 また、必ず本人名義で振り込むこと。 振込先銀行：北陸銀行　金沢南中央支店　普通　6037485 口座名：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝﾎｸﾘｸｾﾝﾀﾝｶｶﾞｸｷﾞｼﾞｭﾂﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝﾀﾞｲｶﾞｸ

② 該当者のみ提出する書類

＜出願資格(2) (3) (6)該当者＞

証明書類 (注1)	備　　考
学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

＜出願資格(3) (4) (5) (6)該当者＞

所定の様式	備　　考
学校教育等履歴書	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

＜外国籍の出願者＞

証明書類	備　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出すること。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（両面）の写しも併せて提出すること。 なお、出願時に海外に在住している者で、出願期間内に有効なパスポートを所持していない者のみ、パスポートに代えて、本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写しを認める。この場合は、次の点に注意すること。 ・日本語又は英語以外で作成されたものの場合は日本語又は英語の訳文を併せて提出すること。 ・提出する写しには「有効なパスポートを所持していない」旨を自書すること。
在留カードの写し	

＜他大学に在学している国費外国人留学生（文部科学省）＞

証明書類 (注1)	備　　考
国費留学生証明書 ※写し（コピー）不可	当該大学が作成したもので、奨学金支給期間が明記されているもの。

＜外国政府派遣留学生＞

証明書類	備　　考
外国政府派遣留学生証明書 ※写し（コピー）可	外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

＜婚姻等により証明書と氏名が異なる者＞

証明書類	備　　考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注1)「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学等による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものである

ことが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

［郵送・提出先］〒923-1292　石川県能美市旭台１－１
北陸先端科学技術大学院大学　教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時　（土日・祝日等を除く）

５．受験票の発送

出願書類を受理した時は、出願書類受理後 2 週間以内に本学から受験票を本人宛に発送します。

６．試験期日及び選抜方法

(1)　試験期日及び場所

次の試験区分に対応した試験可能期間のうち、本学が指定した 1 日に**本学（石川キャンパス）**で試験を行います。

試験日時は、発送する受験票で通知します。

試験区分	試験可能期間※
令和 6 年 10 月入学	令和 6 年 5 月 7 日(火)～ 6 月 27 日(木)
令和 7 年 4 月入学	令和 6 年 7 月 29 日(月)～令和 7 年 2 月 20 日(木)

※土日・祝日等を除く。

(2)　選抜方法

試験は、面接により次のとおり受験者 1 名に対して 30 分以内で実施します。

①　出願時に提出した小論文の内容の口頭発表

・口頭発表時間は 7 分以内

・口頭発表のため、プロジェクター（普通紙をガラス面に載せるだけでスクリーンへ映し出せる書画カメラ機能付のもの）を試験室に準備するので、当日に A4 サイズの紙の資料 1 部（枚数は自由（ただしホッチキス止めはしないこと）、横（辺の長いほうが上下にくる）向き資料推奨）を持参してください。

・発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めますが、その他の資料・機器等の持ち込みや配付は認めません。

②　出願時に提出した小論文・エントリーシートの内容に関する口頭試問

・口頭試問時間は 23 分以内

(3)　評価基準及び合否判定基準

面接試験では、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について総合評価します。

面接試験の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

７．合格者の発表及び入学手続

(1)　合格者発表

合格者発表日は受験票に同封の通知書に記載します。合格者発表日に受験者宛に合否結果通知書を発送します。ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

(2)　入学手続

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	入学手続期限
令和６年 10 月入学	令和６年９月上旬予定
令和７年 4 月入学	令和７年２月下旬予定（時期は試験実施日による）

(3)　入学時納付金

区分		金額	摘要
①入学料		282,000 円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年５月 20 日、後期分が毎年 11 月 20 日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	535,800 円	
③保険料 (2 年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		2,430 円	・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

３．国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

(4)　入学後の学修場所

本学（石川キャンパス）に限ります。学修の一部又は全部を東京サテライトで行うことは認めません（公開行事等への出席は可）。

８．その他の重要事項

(1)　本選抜試験に合格した場合でも、希望する研究室へ配属されるための「入学前内定」を希望する場合は、他の選抜試験と同様、「配属研究室入学前内定制度」による申請が必要です。詳細は、本

学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→配属研究室入学前内定制度）を確認してください。

(2)　「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。